

1 高松市戦災犠牲者慰霊堂（六角堂）・慰霊之碑



基本情報

所 在：高松市戦災犠牲者慰霊堂（六角堂）
 住 所：香川県高松市中野町8-10
 （JR栗林公園北口駅 徒歩1分）
 連絡先：六角堂保存会
 建立者：六角堂保存会
 建立年：高松市戦災犠牲者慰霊堂（六角堂）…平成 7年2月
 慰霊之碑 …平成15年7月

碑 文

高松市戦災犠牲者慰霊堂
六角堂 建立由来記

一九四五年（昭和二〇）七月四日未明、ここ高松市は米空軍B29戦略爆撃機一六機による、焼夷弾の絨緞攻撃を受ける。
 被害地域は、市街地の約八〇％、被害建築物一八、九一三戸、罹災者八六、四〇〇人（当時の人口約十三万人の約六〇％）。死者一、三五九名。
 一夜明ければ、東の空から血の固まりのような太陽が、ゆらゆらと昇り、昨日までそこに在った高松の町並みは見るも無残な廢墟と化し、道端には屍が累々と横たわっていた。特に栗林公園北門の稲荷神社から馬場先の水路に沿う三角地帯の死者はおびただしい数にのぼり、戦後いち早く、この痛ましい場所に石地蔵を建て供養しようと話が持ち上がり、中野町の三角遊園地に「すがり地蔵」を祀り、毎年七月四日慰霊祭が行われていた。その後、高松市戦災犠牲者遺族会が結成され、一九五八年（昭和三三）五月、高松市所管の現在地（高松市中野町八の八）に丹朱の六角堂を建立、毎年七月三日に遺族会主催による佛式の慰霊祭が行われてきたが、六角堂の老朽化が著しくなったため、一九九四年（平成六）装い新たな白壁の六角堂に改修、無宗教の慰霊祭が執り行われ今日に至っている。
 “よい戦争はない、悪い平和はない”。これを「タカマツの心」として、この六角堂に鎮めます御霊を守り続けて行かねばならぬ。

一九九五年（平成七年）
二月吉日 記

慰霊之碑

一九三七年（昭和十二年）蘆溝橋の地に端を發し日中戦争が勃發、さらに一九四一年（昭和十六年）ハワイ真珠湾攻撃により太平洋戦争に突入。
 国民の不安の中、高松市は終戦四十二日前の一九四五年（昭和二十年）七月四日未明、米軍のB29爆撃機百六機による一時間半にわたる空襲を受け市街地の約八割が焦土と化し、老若男女合わせて千三百五十九名の尊い命が奪われました。
 遺族の深い悲しみとこの悲惨な戦争を永久に忘れることなく、戦争の犠牲になられた方々の冥福を祈ると共に、犠牲者のおびただしかったこの地に、鎮魂と平和への願いを込めて慰霊之碑を建立する

平成十五年七月吉日

（故人名）

2 六角堂保存会慰霊事業



開催概要（平成24年度）

歳事名：六角堂保存会慰霊事業
 会場：高松市戦災犠牲者慰霊堂（六角堂）
 （JR栗林公園北口駅 徒歩1分）
 日時：平成24年7月3日（火） ※例年7月3日開催
 参列者数：約100人
 連絡先：六角堂保存会

式次第（平成24年度）

1. 開式挨拶
2. 黙とう
3. 六角堂保存会 会長挨拶
4. 幼稚園児童合唱
5. 献花
6. 閉式挨拶

挨拶（平成24年度）

ご来賓のみなさま、ご参列のみなさま、朝早くからお越しくださいませ、誠にありがとうございます。
 今日、初めてここにお越しになられた方もいらっしゃると思いますので、私どもの会について、少しご説明させていただきます。私どもの会の前身は高松市戦災犠牲者遺族会と申しまして、昭和三十一年に設立されました。今年で五十六年の歴史がございます。
 六角堂保存会は、昭和三十一一年の御霊をここでお祀りし、毎年七月三日に犠牲者の平安をお祈りし、供養をしてきている団体でございます。
 前に見えますこの建物は、高松市戦災犠牲者慰霊式で、通称、六角堂と呼ばれておりまして、昭和三十三年に建立され五十六年たっております。
 この地の供養のために正面に『すがり地蔵』のお地蔵様が奉斎されております。作者名はわかりませんが、中の置かれておりますものは、その当時のものです。両サイドに小中学校・市民文化センターから寄贈されました、折鶴を置いております。
 また、後方の慰霊碑もちょうど、今日で10年を迎えます。十年前の今日は雨が降っておりまして、月日の早さに驚きます。高さが2メートル、横が8メートル、幅が30センチのものです。1359柱のお名前を刻んでおります。
 今日、ご来賓の中で、高松空襲でご家族を失うという辛い経験をされ、のちにお父様のご意思を継いでご住職様となられ、語り部の会、講演会とご活躍の、さぬき市の伝西寺の前ご住職 間島信良様をお招きいたしております。
 また、亀岡町の高松幼稚園から、年長さん28名をお迎えし、きょうのために2曲歌を歌っていただけるそうでございます。高松幼稚園のご父兄のみなさま、今日はお越しいただきありがとうございます。若い方に知っていただけることがありがたいことだと思っております。
 私ども犠牲者の方の供養をするのと同時に、この日はまた、平和に感謝する日でもありました。しかし、震災が起こり、また、日本中が悲しみに包まれました。1日も早い復興を願って、今日も慰霊事業をしたいと思っております。
 最後に、ご参列のみなさまのご健勝とご多幸をお祈りいたしましてご挨拶にかえさせていただきます。

3 高松市戦争犠牲者追悼式



※写真提供 高松市

開催概要 (平成24年度)

歳事名：高松市戦争犠牲者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：サンポートホール高松
 (JR高松駅 徒歩3分)
 日時：平成24年10月10日(水) ※例年10月初旬開催
 参列者数：350人
 連絡先：高松市健康福祉局健康福祉総務課 087-839-2372 (直通)

式次第 (平成24年度)

1. 開式のことば
2. 一同拝礼
3. 黙とう
4. 式辞
5. 来賓追悼のことば
6. 献花
7. 市長あいさつ
8. 閉式のことば

式辞 (平成24年度)

本日、高松市戦争犠牲者追悼式を挙げるに当たり、戦災犠牲者を始め、太平洋戦争陸海軍戦没者や外地犠牲者など、10,664柱の御霊に対しまして、謹んで追悼のことばを捧げます。

ここに鎮まります御霊は、先の大戦において、ひたすら祖国の安泰と繁栄を願い、そして御家族の無事を気遣いつつ戦地に赴き、かけがえない命を落とされた方々、また、開拓者として外地に赴き、はるか異郷の地にあって戦禍に殉ぜられた方々、さらには、戦争終結を目前にしながら、あの熾烈を極めた高松空襲に遭い、痛ましくも犠牲になられた方々でございます。ここに、高松市民を代表し、追悼の誠を捧げますとともに、心から御冥福をお祈り申し上げます。

最愛の肉親を失われた御遺族の皆様におかれましては、決して癒されることのない深い悲しみに耐え、幾多の苦難を乗り越えながら一家を支え、立派に子弟を養育し、また、家業に精励してこられた、今日までの長きにわたる並々ならぬ御苦労に対し、ここに改めて心から御慰労申し上げ、敬意を捧げるものでございます。

先の大戦から、はや67年の歳月が過ぎ去り、御霊がこよなく愛された、ふるさと高松は、市民の皆様の、たゆみない御努力により、県都として、また環瀬戸内海圏の中核都市として目覚ましい発展を遂げてまいりました。

しかしながら、今日、私たちが享受する、この平和と繁栄は、戦禍に倒れられた数多くの御霊の尊い犠牲の上に築かれたものであることを決して忘れてはなりません。

私たちは、過去の不幸な戦争を謙虚に振り返り、二度と惨禍を繰り返すことのないよう、平和の尊さを次の世代にしっかりと語り継ぐとともに、共に力を合わせ、偉大な先人によって築かれた郷土・高松を更に大きく発展させるため、未来の子どもたちに誇れる平和なまちづくりに、全力を傾注してまいります所存でございます。

願わくば、在天の御霊におかれましては、新しい郷土の平和と繁栄を御照覧いただき、どうか安らかにお眠りいただきますとともに、御遺族の皆様に限らない御加護を賜りますよう、心からお祈り申し上げ、追悼のことばといたします。

平成24年10月10日
 高松市長 大西 秀人